

『諸大事切紙』残簡(一)

中山照玲

はじめに

ここで取り上げるこの写本は、一通一通にそれぞれ表包みのある切紙集であり、全体をおさめる入れ物が無く表題が不明であるが、奥書や全体の内容から見て隆誉阿闍梨輯とされる『諸大事切紙』写本の残簡であることが知られ、『諸大事切紙』(仮称)とさせていただく。

この切紙は、奥書によれば宝永二(一七〇五)年正月吉日に、隆誉阿闍梨(一六五三―一七一)が俊清師に伝授したことが知られる写本である。

『諸大事切紙』は、『諸大事』或は『諸切紙集』などともいわれており、この宝永二年の切紙の伝授に関連しては、残簡の第四結三の「去讖還来」に承應二(一六五三)年の奥書と、元禄元(一六八八)年の奥書と、宝永元(一七〇四)年の奥書との三の奥書があり、その三番目の奥書に「宝永元^甲十一月上旬^ニ於智積院隆譽ノ以御本寫之了 俊清」^②とあり、俊清師が宝永二年正月の伝授に先立って前年の十一月上旬に、隆誉阿闍梨所蔵の『諸大事切紙』を借覧して書写させていたことが記されている。

この奥書の前にある奥書には、「元禄元戊辰年九月下旬於下總國市川徳寺以隆鋟法印御本奉^書昼^書傳受了隆譽」^③とあって、「市川徳寺」については明らかでないが、そこで隆誉阿闍梨は隆鋟法印に元禄元(一六八八)

年九月下旬に伝授を受けていたことが知られる。

さらにその隆鋈法印が受法した阿闍梨については、その前にある奥書に「兼應二癸巳年四月十六醍醐寺報恩院前大僧正寛濟以御自筆書被下通也 隆鋈^④」とあり、醍醐寺報恩院第十六世の寛濟大僧正からの、承応二

(二六五三) 年四月十六日の伝授であつたようである。

なおまた、この切紙残簡の第五結十二「顯露不結印事」の奥書には、朱筆にて「私云此一通醍醐寺住山之時前法務大僧正有雅大和尚賜相承之御本奉拜寫了

宝永二乙酉天正月吉日

求法慈雲房 隆譽^⑤」

とあつて、さらにまたこの切紙残簡の第十結の十「童形毎日所作幸心」の奥書には、「元禄癸酉秋於醍醐寺賜報恩院有雅大僧正御本奉拜寫了」^⑥とあり、元禄癸酉は元禄六(一六九三)年にあたり、寛濟僧正の後継者であつた有雅僧正(二六三四〜一七二八)からの相伝で、醍醐寺報恩院の寛濟大僧正から隆鋈法印經由で隆譽阿闍梨が受法した切紙と、有雅僧正經由で受法した切紙との二の相承のあつたことが知られる。

こうしたことから、隆譽阿闍梨は他の阿闍梨達からも種々の切紙の伝授を受けていたことが考えられ、これらの切紙を整理し関連ありと思われる切紙をそれぞれ一括りとして、全体を十括り、すなわち十結としたのであろうと思われる。

隆譽阿闍梨の他にも、こうした同様の種々の切紙の相伝を受けていた阿闍梨達がおられ、その中には切紙の散佚を恐れ、関連する切紙をまとめて整理していた阿闍梨達もおられたと考えられる。

嘉永五（一八五二）年の砌に校合したと奥書のある、息災山住の宥真記とある『十結私記』の最初に、「十結者慶宜法印ヨリ傳來ノ諸切昏悉ク別紙ナルヲ紛散シ愁テ失シ」ヲ集テ成ス十結「異本多ト云⑦」と記されていて、慶宜法印から相伝されていた、一紙一紙別々であった切紙を、紛散しないようにまとめて十結にしたというのである。

ここには隆譽阿闍梨の名前は見られず、切紙を受法し分類編集して所蔵していた阿闍梨達が、他にもおられたと推察される。

この『諸大事切紙』は、多くの人達がより良く生きられるよう諸仏、諸神に込めた種々なる祈りと願いのあらわれといえましよう。

その所願成就の祈願を依頼される真言行者は、願望が成就するように祈りを込める、その修法所作を切紙に記し、それを蒐集したのが『諸大事切紙』で、檀信徒が多く訪れるほとんどの真言宗寺院には備えられていて、伝授も常に行われていたと考えられる。

そのような必要性から書写して流布していたが、出版本もあり、古くは寛文十三（一六七三）年板行の『諸大事類藏』^⑧全五巻があるが、最も普及しているのは、高野山の松本日進堂本店から昭和二（一九二七）年十二月二十一日に、標題を『加持真言秘密諸大事全集 全』^⑨として印刷出版されたもので、これは現在でも版を重ねている。

その他には、京都山城屋文政堂藤井佐兵衛から、『諸大事十結』^⑩十冊一帙が出版されている。

この『諸大事切紙』の解説書としては、隆譽阿闍梨の『諸大事口訣』^⑪等があるが、最近真言宗智山派第七十二世管長布施浄慧猊下が、九州の高野山真言宗肥前青年教師会からの依頼により、平成十年十一月四・五日と平成十一年三月二十九・三十日との二会にわたり開催された、『諸大事十結』の伝授での講録が、『諸大事十結解説』^⑫として出版さ

れている。

また布施猷下は、「隆譽法印について」¹³の論文を発表しておられ、これは隆譽阿闍梨についての唯一の論文と思われる。

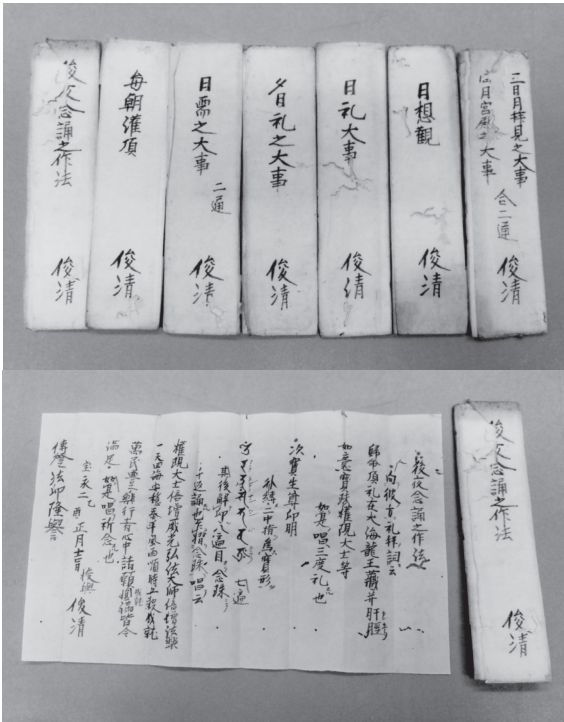
本稿で取り上げさせていただくこの切紙集は、残簡であるが隆譽阿闍梨からの直接の相伝と考えられ、切紙の形態であって、このまゝでは将来さらに散佚する恐れがあることから、ここに報告させていただくことにした。

註

① 成田山仏教図書館 未修補披見不可文書内

この切紙第一結の分とされている残簡と、その第一とされている「後夜念誦之作法」の写真を掲出させていただく。
高野山の松本日進堂出版本と比較して見ると、「毎日日天拜見之大事」と「八輻輪」の二通が抜けている。

下段写真の「後夜念誦之作法」の奥書に、隆誓阿闍梨と受者俊清師の名前が見られる。



② 本稿六六頁参照。

③ 本稿六六頁参照。

「市川徳寺」については不明である。

日本歴史地名大系12の『千葉県の地名』（平凡社）二二八頁中段には、真言宗豊山派の寺院として徳願寺が見られるが、ちくま学芸文庫の新訂江戸名所図会6の三二二頁では、海巖山徳願寺は浄土宗にして鴻巣の勝願寺に属すとされている。

④ 本稿六五頁参照。

⑤ 本稿九八頁参照。

⑥ 第十結は次回に寄稿予定。

⑦ 「十結私記」 成田山仏教図書館所蔵

ち
1718
25。

王結者慶宜は中得未諸切
筆悉別紙紛散愁失
集成十結異本多トム

嘉永五子歲閏月廿二
午傳授四目用白八日結願
具柳校合之趣

息免山住 省真記

⑧ 『諸大事類藏』 成田山仏教図書館所蔵

2
46
91。

- ⑨ 『<sup>加持
祈禱</sup>真言秘密諸大事全集 全』 松本日進堂 昭和二年十二月二十一日初版発行
筆者所蔵のものは昭和四十一年八月一日第六版発行である。
- ⑩ 『諸大事十結』 山城屋文政堂藤井佐兵衛出版本。
出版年代等は記されていない。
- ⑪ 『諸大事口訣』 成田山図書館蔵書分類目録 仏教部 昭和五十二年十一月十日発行
四二三頁上段に、成田山仏教図書館に所蔵されている十一種の写本が見られる。
- ⑫ 『諸大事十結解説』 布施浄慧著 高野山真言宗肥前青年教師会結成十五周年記念出版 平成十二年十月二十一日初版発行。
- ⑬ 「隆誓法印について」 布施浄慧著 『仏教教理・思想の研究』 佐藤隆賢博士古稀記念論文集刊行会 山喜房佛書林 平成十年五月六日発行 四五一～四五八頁。

凡例

底本 成田山仏教図書館所蔵未修補披見不可文書内。

⑧賢翁本 成田山仏教研究所蔵本

表紙に[㊦]佛子賢翁と墨書されている。

⑨泰深本 成田山仏教研究所蔵本

第一結の奥書に「享和元歲舍辛酉冬十二月六日寫之 衲子泰深」と記されている写本。

右二写本を対校したが、随時次の二の出版本を参照させていただいた。

⑩高野山出版本『^{加持}眞言秘密諸大事全集 全』松本日進堂 昭和二年初版 昭和四十一年八月一日第六版發行。

⑪山城屋文政堂出版本『諸大事十結』山城屋文政堂藤井佐兵衛出版本。

〔表包〕

第一之一（表包裹書）

□□念誦之作法

俊清

〔本紙端裏書〕

第一之一^⑧

後夜念誦之作法^⑧

俊清^⑧

〔本紙〕

① 後夜念誦之作法

礼―禮

向^テ彼ノ方^ニ礼拜ノ詞^ニ云

カンキヤウ

歸―歸、皈

歸命頂礼在大海龍王藏并肝脰如意寶珠權現

寶―霈、宝

大士等

如^レ是ノ唱^ヘ三度礼^{スル}也

次寶生尊印明

外縛^ノ二中指^ヲ爲^ス二寶形^一

① 「後夜念誦之作法」^⑧二八「後夜念誦法」トアリ。

アラシヤサハバカラク
②
ウイミヤミヤ

七遍

②「五」⑥二ハ「五」トアリ。

其ノ後解^レ印^ヲ八遍目ヨリ念珠ニテ千返誦スル也

乍^ラ摺^リ念珠一^ヲ唱^テ云

權現大士倍增威光 弘法大師倍增法樂

一天四海安穩泰平 風雨順時五穀成就

萬民豐樂 行者心中諸願圓滿皆令滿足

如^レ是ノ唱^テ祈念スル也

③「諸願圓滿」③二ハ「諸願成就」トアリ。

円—圓、滿—滿

④
宝永二^乙正月吉日 授與俊清

④奥書⑥共ニ無シ。

傳燈法印隆譽

尚この本誌の他に別筆で「後夜念誦大事」とある別紙が一紙添えられているので、次に掲出しておく。

後夜念誦大事

ウ一山一室生山

先向ニウ一山方

護身法

如常

南無皈命頂礼在大海龍王藏并肝頸

如意宝珠權現大士等 矣

五大投地 三遍唱レ之

次宝勝尊印明

外縛ニ中指立合
如宝形明

字列マヤ不列マヤ不 七返

次母珠七遍目ヨリ宝勝尊真言

千遍唱レ之

祈願任意

祈願詞云念誦了_テ摺_ニ念誦_一弘法大師倍

増法楽一天四海安穩泰平風雨順時五穀

成就万民豊樂等_云

ノ一切ノ惡心ハ収_ニマル_ヲ其_ヲ其_ヲ其_ヲ其_ヲ明_ニ

以此為後夜念誦

宝永_二乙酉正月吉日 授與俊清^⑥

⑥ 奥書_⑧共二無シ。

傳燈法印隆譽

(表包)

第一之三 (表包裏書)

日需之大事 二通

俊清

(本紙端裏書)

第一ノ三^⑧

日待之大事^⑧ 二紙ノ丙

俊清^⑧

(本紙一)

日需大事^⑦ 初夜作法

禮—礼

向東方禮文曰三礼

皈命日天子 本地觀世音

廣—広、眾—衆

普照四天下 廣度諸眾生

^⑧ 虚空^⑨之
三弁宝珠觀之

次日想觀印 日輪形印

⑦ 「日需大事」⑧ニハ「日需大事ニ通内」トアリ。

⑧ ⑧ニハ此ノ間ニ朱筆ニテ「先護身法」トアリ。

⑨ 「書之」⑩ニハ「書之小三古印」トアリ。
⑩ニハ此ノ下ニ朱筆ニテ「金拳左ハ按レ腰ニ右伸レ風ヲ」トアリ。

ヲンロボウニユタソワカ
 ⑩
 ⑪
 ⑫

⑩「」ニハ「」トアリ。
 ⑪「」ノ下ニ「」トアリ。
 ⑫「」ノ下ニ「」トアリ。

次取念珠光明真言 廿一遍

卯一卯、
 迄一迄ノ転用

口傳云前ノ日ノ酉ノ時ヨリ 卯ノ時迄也

余一爾、所
 雖余辰ノ時出玉フ 故ニ所作モ辰ノ尅可レ勤也云

後夜作法

先向日天三礼

礼文如前

⑬ 次灑水印 ⑭

次日天灌頂印

皈一歸、
 歸

智拳印 皈命 三遍

外五拈印 皈命 三遍

惠一慧
 大恵刀印 皈命 三遍

次正念誦

日天ノ真言百八遍唱之

次金剛合掌^⑮ 唱曰

我本秘密大日尊^⑯ 大日輪觀世音

觀音應化日天子 大日權迹名日神

四海能救慈悲光 盍以示現大明神

次祈念任意

宝永二乙酉^⑰正月吉日 授與俊清

傳燈法印隆譽

⑮ 「唱曰」⑯ニハ無シ。

⑯ 「大日輪」⑰ニハ「大如意輪」トアリ。

⑰ニハ「大日日輪」トアリ。

⑰奥書⑱ニハ無シ。

(本紙二、端裏書)

第一ノ三

⑮ 日需之大事 二紙ノ内

⑮ 俊清

(本紙二)

事一夏

⑮ 日需之大事

先護身法

次金剛合掌 過去現在未來 三反

次無恥不至印 慈救咒 廿一返

華一華、花

次蓮華合掌 ⑮ 五字文殊 七返

次列王咒

次八葉印 五大咒 三返

次列王咒

次外五貼印

⑮ アキムヒキヤラム 三返

⑮ 「日需之大事」⑮二ハ「後綴日需之大事」

トアリ。⑮二ハ「日需之大事」⑮二ハ「後綴日需之大事」トアリ。

⑮ 「五字文殊」⑮二ハ「五字文殊咒」トアリ。

兩—兩、
兩

②①

師口云右兩種ノ真言各一千遍可誦之

是則正念誦也_云

次唱三歸 一反 金合

南無皈依佛 南無皈依法

南無皈依僧

次祈念任意

俊清^{②①}

傳燈法印隆譽

②① 此ノ間ニ^{②②}ニハ「次金剛合掌 日天
咒 三遍 ^ウスズク^ススズク^ス」ヲ加エ
テイル。

②② 奥書^{②③}ニハ無シ。

(表包)

第一之四 (表包裹書)

夕日礼之大事

俊清^⑧

(本紙端裏書)

第一之四^⑧

夕日礼之大事^⑧

俊清^⑧

(本紙)

日需夕日礼大事^{②②}

先護身法

次向^ニ日輪^一以^ニ刀印^一日輪ノ中^ニ氣^{②③}如是氣字三字

書之

次金剛合掌

セングラヤ
シヤヤヤヤヤ

七反

②② 「日需夕日礼大事」 ②③ ニハ 「日需夕日礼大事」^{②③}初夜作法」トアリ。

②③ 「如是」 ②④ ニハ 「如此」トアリ。

アニチャヤ
ミチノササキ

七反

次外五牘印

光明真言

廿一返

次可祈念盱求

口傳云此法ハ高祖大師御入唐ノ時²⁴

²⁴「入唐時」[㊦]ニハ「入唐時修レ之給ト
云」トアル。[㊧]ニハ「入唐ノ時修給云」
トアリ。

宝永二乙酉正月吉日 授與俊清²⁵

²⁵奥書[㊨]ニハ無シ。

傳授法印隆譽

〔表包〕

第一之七〔表包裏書〕

日礼大事

俊清

〔本紙端裏書〕

第一之七^⑧

日礼大事^④

俊清^④

〔本紙〕

日禮之大事 又云日想觀

先護身法

次之字觀 金剛合掌^{②⑤} ⑧ ⑦返

次定印 ②⑦ ⑧ 法界定印

觀想^{セヨ} 心ノ前ニ有^ニ非^⑧字變^⑦成^{ニル}八葉ノ蓮華^{一ト} 蓮華ノ

上^ニ

有^ニ非^⑧字^{一ト}變^⑦成^{ニル}日輪^{一ト}光明赫奕^{トノ}照^ス四天

②⑤ 「^⑧ ⑦返」 ⑧ ⑦無シ。

②⑦ 「法界定印」 ⑧ ⑦無シ。

下「無量ノ光焰前後左右ニ圍繞ス」^㉘七處加持如常

㉘

「七處加持如常」^㉘ニハ「次如來拳印
ヲ要テニテ七處加持ス」トアリ。

次外五貼印

㉙

三返

次福智顯現印

㉚ 私云如胎藏次第

㉛

三返

付箋

(福智顯現印

虚合屈ニ水ヲ入レ掌合甲以ニ
大押ニ水申側ニ風略散

次念誦任意

次舍利札

㉜ 金合

七反

次折念

任意

次三部被甲等

㉝ 宝永二乙酉

正月吉日

授與俊清

傳授法印隆譽

㉙ 「私云如胎藏次第」^㉙ニハ「處合ノ屈
ニ水ヲ入掌合甲以ニ二大ヲ押スニ水甲
側ヲニ風堅合散」トアリ。^㉚ニハ「私
云如ニ胎藏次第ノ虚合ノ屈ニ水ヲ合セ甲
ヲ入レ掌ニ以ニ二大ヲ押ニ水側ヲニ風立
散」トアリ。
㉛ 「㉛」ニハ「㉛」トアリ。
㉜ 「㉜」トアリ。
㉝ 「㉝」ニハ無シ。

㉝ 奥書^㉝ニハ無シ。

(表包)

第一之八 (表包裹書)

日想觀

俊清^③

(本紙端裏書)

第一之八^③

日想觀^③

俊清^③

(本紙)

日想觀

先護身法

次彌陀定印

𠄎字三遍

次内縛^ノ右ノ頭指^ヲ立日輪ノ中^ニ𠄎^③字書^レ之

次同印^{ニテ} 三度招也^{③④}

明日^レ苟^々

三遍^{③⑤}

次内縛印明日

𠄎

一遍^{③⑥}

③③ 「𠄎字書之」③ニハ「書^ヲ𠄎字^ニ」トアリ。

③④ 「招也」③③ニハ「招之^ヲ」トアリ。

③⑤ 「三遍」③ニハ無シ。

③⑥ 「一遍」③ニハ「三反」トアリ。

次外縛印明曰 ㊦ 一遍

次非内非外縛印明曰 ㊦ 一遍

次金剛合掌 ㊦ 五字

次念佛 百遍

南無皈命頂礼慙愧懺悔六根罪障[㊦]二世安樂[㊦]

㊦ 祈念可任意者也

㊦ 宝永二乙酉正月吉日 授與俊清

傳燈法印隆譽

㊦ 「五字」㊦ニハ「五字 一遍」トアリ。

㊦ 「罪障」㊦ニハ「罪障^{罪障}」トアリ。

㊦ 「二世安樂」㊦ニハ「臨終正念往生極樂乃至法界平等利益」トアリ。

㊦ 「祈念可任意者也」㊦ニハ無シ。

㊦ 奥書㊦㊦ニハ無シ。

(表包)

第一之九 (表包裹書)

三日月拜見大事

合二通

俊清

同月宮殿之大事

(本紙端裏書)

一ノ九^④

三日月大事^③ 二通ノ内^②

俊清^④

(本紙一)

三日月拜見大事

先護身法

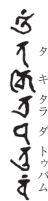
次向二月輪^一以二劔印^ヲ加持 廿一遍

明ハ慈救咒ノ末ニ加ヘ^④ ㊦^②ノ三字ヲ唱ル^④也

次同印^{ニテ}月輪ノ内ニ^④ ㊦^⑤三字一遍書之

④「㊦」㊦ニハ「㊦」トアリ。
⑤「㊦」㊦ニハ「㊦」トアリ。
⑥「㊦」㊦ニハ「㊦」トアリ。
⑦「㊦」㊦ニハ「㊦」トアリ。

次真言一百八遍誦^{④⑥}ス之

タキタラダトウバム


次慈救咒

廿一遍

次法施

諸經ノ偈等

心經

三卷

千手陀羅尼

^{④⑦}ロイテイイリヤ


次祈念任意^{④⑦}

次三部

被甲等

^{④⑧}宝永二乙酉正月吉日 授與俊清

傳燈法印隆譽

④⑥ 此ノ間ニ^{④⑧}ニハ朱筆ニテ「或月宮殿之大事入^{ニル}于此^ニ也^云」トアリ。

④⑦ 「祈念任意」^{④⑧}ニハ「祈願任意」トアリ。

④⑧ 奥書^{④⑨}ニハ無シ。

(本紙二、端裏書)

一ノ九

月

二通ノ内

俊清

(本紙二)

月宮殿之大事

三日月付

④「月宮殿之大事」⑤ニハ「月宮殿大事」トアリ。

⑤「三日月付」⑥ニハ「三日月付」トアリ。

若人求佛恵

智拳印

通達菩提心

外五拈印

父母所生身

内五拈印

速證大覺位

弥陀定印

不_レ散_ニ定_一印_一 唱_ニ此_一ノ文_一

明王ノ本誓_ニ着_レテ_一心_ヲ見_ヨ不_レ動_ニ賢_一愚_ヲ現_ニス_一二重_一

魔障何_ソ窺_ニ盤_一石_ノ上_ヲ乎_一盡_ニ三千_一界_ヲ火_ニ焰_一紅_一也

次不動三種印明

⑤「現ニ二重ニ」⑥⑦ニハ「現ニ二重ニ」トアリ。

次降三世印明

⑤② 大印大咒順逆四処加持

次四明

次拍掌

次慈救咒

百遍

次祈念任意

次三部被甲等

⑤③

褻―褻

授與俊清

傳燈法印隆譽

⑤② 「大印大咒順逆四処加持」⑤二ハ
「大印大咒―反咒順逆四処加持」トアリ。
「大印大咒―反咒順逆四処加持」トアリ。

⑤③ ⑤二ハ 「已上第一結九褻十一通分也」
トアリ。

⑤二ハ 「于時寛延三歲次辛未孟春念日

以道證和尚之本書寫校合了

城南求法資泰周

享和元歲舍辛酉冬十二月六日

寫之

納子泰深」

トアリ。

(表包)

第二之二
(表包裹書)

十七夜需待之大事

俊清

(本紙端裏書)

第二之二^(宋)

十七夜待之大叟^宋

俊清^⑤

(本紙)

十七夜待之大夏

夏——事

先護身法如常

次向^{ニテ}東方^{一ニ}以^{ニテ}風指^{一ヲ}𠄎字^三返書^ク之

亥字三返書_ク之

彌
—
弥

次彌陀ノ定印

明日

⑤ ラン
バザラタマ
キリク

次念誦

千遍

⑤④「ウ フ ク シ ヘ」賢二ハ「ウ フ ク シ ヘ」

泰二八「ウヰヱヲミヰ三反」トアリ。

礼—禮

次法施

心經七卷

舍利礼七返

次祈念任意

宝永二乙酉正月吉日

授與俊清

⑤⑤奥書⑥⑥二八無シ。

傳燈師法印隆譽

(表包)

第二之三 (表包裹書)

十八夜待之大夏

俊清

(本紙端裏書)

第二之三^④

十八夜待大事^④

俊清^④

(本紙)

十八夜需之大夏^{⑤⑥}

戊時
向東方修之

⑤⑥ 「十八夜需之大事」 ④ニハ「十八夜待之大夏」トアリ。

先護身法

卮^一左

次右右手作^ニリ釵印^ニ 卮^{⑤⑦}當^テ腰^ニ以^ニ右釵印^一 向^ニテ月

⑤⑦ 「卮」 ④ニハ「卮印」トアリ。

輪^一 卮^ニ字三返書之

次梵篋印^{⑤⑧}

三返

次心經

三卷

⑤⑧ 「梵篋印」ノ下ニ ④ニハ朱筆ニテ「ニ手タカイニアハス」トアリ。

次観音經 三卷

次月天咒 ⑤⑨

ロ ケイジハバ アラジヤ キリク
⑥⑩ ⑪

口傳云弘法大師御入唐之時立待^{⑥⑪}ニ拜給^{⑥⑪}フ依之

一切御願成就^{⑥⑪}シ給也千金莫傳可秘^云

⑥⑫
 寶永二乙酉正月吉日 授與俊清

⑤⑨ 真言ノ下ニ^{⑤⑨}ニハ朱筆ニテ「一反」トアリ。

⑥⑩ 真言ノ上ニ^{⑥⑩}ニハ朱筆ニテ「或百反或千反」ト二行ニ書カレテイル。

⑥⑪ 「立待」^{⑥⑪}ニハ「立時」トアリ。

⑥⑫ 奥書^{⑥⑫}ニハ無シ。

(表包)

第二之四 (表包裹書)

廿三夜待之大夏

俊清

(本紙端裏書)

第二之四^④

廿三夜待之大夏^④

俊清

(本紙)

廿三夜待之大夏

先護身法 如常

次持花印

華一花
餘一余

厄手拳^ニ安^ニ腰^ニ右ノ大指頭指端相合余ノ三指直^ク舒

明日

サンザンザンサク
心利本本利サ

衆—衆、照—照

次金剛合掌

皈命日天子

本地大勢至

爲度衆生故

普照四天下

次舍利礼

七返

右祈念任意

宝永^{⑥③}二乙酉正月吉日

授與俊清

傳燈師法印隆譽

⑥③ 奥書⑥③二ハ無シ。

〔表包〕

第二之五〔表包裹書〕

七夜待之大夏

俊清

〔本紙端裏書〕

第二之五^④

七夜待之大夏^④

俊清^④

〔本紙〕

七夜待之大夏^④
自十七夜迄二十三夜迄

⑥4 「自十七夜迄」 ⑥5 ニハ無シ。

⑥5 二ハ「自十七夜迄」トアリ。

先護身法 如常

次外五帖印

⑥5 ⑥5 ⑥5 ⑥5 ⑥5

七難即滅

三遍

次内五帖印

⑥5 ⑥5 ⑥5 ⑥5 ⑥5

⑥5 「五」 ⑥5 ⑥5 ニヨリ補ウ。

七福即生 三遍

次龙手拳^ニ安腰^ニ以^ニ右ノ手ノ中指^ヲ月輪内^ニ氣字三遍
書之

次氣字一千遍可唱之也

次弥陀定印

㊦^{⑥⑥} 三遍

次兩ノ手ヲ開^テ胸ノ中^ニ觀^レ有^ト如意寶珠一我身^ニ可^二招^キ
納^ム一也

次當尊ノ印言可^レ結^ニ誦^之一

次每夜當尊咒百遍並勢至ノ咒百遍可唱之

次析精任意

畧云奉修此法者三月ノ内所願成就無疑所也

並一并

⑥⑥「㊦」⑥⑥ニヨリ補ウ。

七夜本尊之⁶⁷ 支

初夜⁶⁸

十七夜千手

八葉印

口云觀^ス八葉蓮花上有^ト宝珠^一

ハザラタラマキリク
ミヤミヤミヤ

第二夜⁶⁹

十八夜正觀音

内縛ノ右大指直ク立勿^レ着^二頭指^一

アロリキヤ
ミヤミヤミヤ

第三夜

十九夜馬頭

二手合掌ニ頭ニ無名屈入掌合^セ甲^ヲ二大並^ハ微^シ屈^レ着^二頭指^一
勿^レ着^二頭指^一 大頭^ハ形^ノ間^ニ

⁷⁰
アミリトトハシバムハツダ
(ミヤミヤミヤミヤミヤミヤ)

⁶⁷「支」^④ニハ「大事」トアリ。

⁶⁸「初夜」^④ニハ小字ニテ「初夜異ニハ十八夜」トアリ。

⁶⁹「第二夜」^④ニハ小字ニテ「第二夜異ニハ十七夜」トアリ。

⁷⁰此ノ真言^④ニヨリ補ウ。

第四夜

廿夜十一面 金剛合掌ヲ深く交テ置ニ頂上ニロイ

マカキヤロニキヤ
カキヤロニキヤ

第五夜 異ニハ有ニ第六ト

廿一夜准胝 外縛ノ二頭ニ大並立^{⑦①}

シャレイソレイソンテイ
カキヤロニキヤ

第六夜 異ニハ在ニ第五^{⑦②}

廿二夜如意輪 外縛ノ立ニ合セニ頭指ニ蹙ニ中節ニ宝

形ニスニ大ニ無立ニ合セニ小以レ右押

レ右立ニ交ユ

ハラダハントメイム
カキヤロニキヤ

第七夜^{⑦③}

廿三夜勢至 蓮花合掌ニ中ニ小開ニ立ニテ、勿レ着ル

サンミサンサク
カキヤロニキヤ

⑦① 二ハ「第五夜異ニハ在第六」トアリ。

⑦② 「第六夜異ニハ在第五」ニハ無シ。
⑦③ 二ハ「異ニハ在第五」ニハ無シ。

⑦③ 「第七夜」ニハ無シ。

⑦④
宝永二乙酉正月吉日

授與
俊清

⑦④奥書⑦④二ハ無シ。

傳燈師法印隆譽

第二之十^(宋)

節分經之作法^宋

俊清^①

除夜心經會作法

九條錫杖
一卷

心經
七卷^⑧於他所者其年日數可讀也

藥師咒
七遍

ラン コロコロ センダリ マトウギ ソワカ

般若菩薩咒
七遍

ランヂ
シリシヨタ
ビジャエイソワカ

उंरिप्रियनवस्यसुद

毘沙門天咒
七遍

ハイ シ ラ マン ダ ヤ ソ ワ カ
バイ

南無當年星 七遍

南無本命星 七遍

南無元辰星 七遍

荒神咒 七遍

唵 嘛 呢 叭 彌 吽 薩 婆 訶

⁷⁵ 一字金輪咒

唵 嘛 呢 叭 彌 吽 薩 婆 訶

已上

私云右ハ根来寺等分會之作法也⁷⁶

心經ノ卷数本山ハ大衆^{ナル} 故雖七卷

於^ニ由舍方^一者何人^{ニテモ}⁷⁷ 其ノ年ノ日数程

可^レ讀也⁷⁸

⁷⁵ 「一字金輪咒」⁷⁶ 二ハ「一字金輪」トアリ。

⁷⁶ 「根来寺等分會之作法」⁷⁷ 二ハ「根来寺節分會之作法」トアリ。

⁷⁷ 「何人」⁷⁸ 二ハ「何方」トアリ。

⁷⁸ 「也」⁷⁹ 二ハ無シ。

元禄十二^⑦_{己卯}二月吉日根来寺

相兼之作法書寫之了

求持

俊清

⑦此ノ奥書⑧ニハ無シ。

⑧ニハ「于豈寛延四龍集辛未孟陽廿八
烏以道澄和上之本書寫校合畢

末資泰周

享和改元之冬十二月七日寫之

息慈泰深」

トアリ。

撥—撓

(表包)

第三之二 (表包裹書)

古佛修輻之時撥遣
召請大事

俊清

(本紙端裏書)

第三之二^⑧

古佛修輻之時撥遣召請之大事^⑧

俊清^⑧

(本紙)

古佛修輻之時撓遣^⑧召請大事

撓遣之大事

表白

謹敬^テ白^ニ今^⑧此^⑧ノ像^ニ而言^ク 情以^{レハ}往昔ノ先德

⑧1 「此像」 ⑧2 ニハ「此尊像」トアリ。

從^ニ開眼供養^一以來^タ具足^ノ三身万德^ノ之妙用^一

今施^ニシテ^{フラン}利益衆生^ノ之巨益^一然^ニ今及^ニ破損^{ハツ}^ニ

依^テ之^ニ為^レ加^ニ修輻^一暫^ク奉^レ送^ニ法性^ノ果位^ニ重^テ

法—法

欲^ス奉^{ント}勸^シ請^ハ唯願^ハ本尊還^ニ着^{セシメ}玉^ヘ本位^ニ

八葉印

三度

彈彈

彈指 三度^⑧

修幅以後勸請之表白

敬白^ニ今此ノ尊像^ニ而言^ク修幅之間雖^レ奉^{ルト}送^ニ

養賴

法性之本宮^ニ今又致^シ勸請^ヲ奉^{ニル}開眼供養^シ蜀江^コ

之錦^ハ

隨^テ洗^フニ増^シ色^ヲ諸佛之体^ハ隨^テ應^ニ施^ス益^ヲ乞^ヒ願

クハ哀^ニ愍納^三受^シ弟子^カ法施^ヲ降臨影向^シ玉^ヘ

大鈎召印明

四攝印明

為^レ奉^シ開^キ青蓮慈悲ノ御眼^ヲ具^中足^シ五眼^上

⑧ 真言ノ後ニ「三遍」トアリ。

⑧ 「勸請之表白」⑨ ニハ「勸請表白」トアリ。

⑧ 「法性之本宮」⑨ ニハ「法性本宮」トアリ。

佛眼真言 丁

印明結誦

為_レ奉_レシカ令_メ下五智四身ノ功德圓滿_シ獲得_{上セ}

大日真言 丁

印明結誦

三身印明

宝永⁸⁵⁾二乙酉

正月吉日

授與俊清

傳燈大阿闍梨法印隆譽

⁸⁵⁾奥書⑨⑩ニハ無シ。

三遍

三遍

已上開眼之時ノ觀想如常

宝永⁸⁸二乙酉正月吉日 授與俊清

⁸⁸ 奥書(寶永)二八無シ。

(表包)

第三之六 (表包裹書)

柴洗□作法

俊清

(本紙端裏書)

第三之六

柴手洗作法

俊清

(本紙)

柴^ニ手^ヲ洗^フ法 大師御傳

以^ニ右^ノ手^ヲ取^リ草木^ノ葉^一入^レ合掌之中^ニ押^シ盡^シ之^一

誦^レ咒^ヲ曰 唵^ビ尾^一合^テ紫帝^テ娑婆^ヲ賀

亦持^ニ草木^ノ葉^一含^レ口^ニ啓^シ之^ヲ誦^ス真言^ヲ曰^フ

唵迦羅目娑婆賀

89 「押盡」㊦ニハ「押^シ接^モ」トアリ。

90 「紫」㊦ニハ「柴」トアリ。

91 「啓」㊦ニハ「啓^シ」トアリ。

92 私加
十誦律云大衣近村^ニ有^ラハ池江^一即^チ洗^ヘ手足^ヲ無^レハ

92 「私加」㊦ニハ「私云」トアリ。

水以^ニ草木ノ葉^ヲ拭塵土^ヲ然^ニ後着^ス衣^ヲ文

依他需從秘鈔中拔出授與之了^{⑨③}

俊清

⑨③ 「依他需從秘鈔中拔出授與之了 俊清」

⑨④ 二ハ「依他需從秘鈔拔出 隆譽」トアリ。

⑨⑤ 二ハ無シ。

(表包)

第三之七 (表包裹書)

洗手漱口洗面目作法

俊清

(本紙端裏書)

第三之七

洗手漱口洗面目作法

俊清

口云高雄口決_ト者真濟僧正也

(本紙)

洗_レ手_ヲ漱_レ口_ヲ洗_フ面_目作法

高雄_ヲノ口決_ニ云先觀_ヨ二_ニ手_ヲ定惠_ニ一_右惠_左十指_ハ者

十法界十波羅蜜也即_チ念_{タマヘ}洗_ニ淨_{ムト}是_一

次_ニ漱_レ口_ヲ時以_ニ右_ノ手_ノ大頭指_ヲ入_ニ口_ノ右_ニ磨_{スリ}

洗_フ即_チ誦_ニ金剛喜_ノ咒_ヲ曰

唵縛曰羅薩都薩娑婆訶_ト

以_ニ此_ノ真言_ヲ漱_レ口_ヲ時_ニ其_ノ口清淨_ニ所_レ出_ス言

94 「十指者」 98ニハ「十指」トアリ。

95 「念_ニ洗_ニ淨_ム是_一」 98ニハ「念_ニ洗_ニ淨_ム」トアリ。

96 「訶」 98ニハ「賀」トアリ。

音私雅^⑨ガニフ

令^ム二人樂^{カク}レ聞^シント也出^デレ言^ハ之時人皆歛喜^シ讚歎^ス云

次洗^レ目^ヲ時以^ニ佛眼^ノ真言^ヲ加持^{シテ}洗^レフ之^ヲ

咒^ニ曰^ハ但用^ニ佛眼^ノ小咒^一也^④⑤ランホタロサニソワカ

曩^{カマ}莫^マ三^{サン}滿^{マン}多^ダ勃^ボ陀^ダ南^{ナン}梅^{メイ}陀^ダ婆^バ盧^ロ讚^{サン}那^ナ娑^サ婆^バ詞^⑨

以^ニ此^ノ真言^ヲ加^ニ持^シ水^ヲ洗^レ目^ヲ時目眼無^レ病所^レ

見分明^ニ遂^ニ得^レ見^上二^ヲ十方諸尊等^一也

次洗^レ面^ヲ時以^ニ金剛咲^ノ真言^ヲ加^ニ持^シ洗^レ之^ヲ

咒曰

唵^ハ縛^サ曰^カ羅^カ阿^サ薩^カ覺^ク

以^ニ此^ノ真言^ヲ加^ニ持^シ水^ヲ洗^レ面^ヲ時其^ノ面清^{セイ}潔^{ケツ}鮮^{セン}

白^⑩等^也

⑨「私雅」④⑤ニハ「和雅」トアリ。

⑨⑧「ランボダロサニソワカ」④⑤ニハ無シ。

⑨⑨「訶」④⑤ニハ「賀」トアリ。

⑩⑩「呵」④⑤ニハ「可」トアリ、⑤ニハ「哥」トアリ。

⑩⑪「洗面時」④⑤ニハ「洗面」トアリ。

⑩⑫「等」④⑤ニハ無シ。

已上

(表包)

第三之九
(表包裹書)

眠卧時作法

俊清

(本紙端裏書)

第三之九^⑨

眠卧時作法^(宋)

俊清^⑤

(本紙)

眠卧時作法

睡——睡

小野ノ海僧正云入ル睡眠時右脇ニメ誦ス此ノ明ヲ

⑩³「小野ノ海僧正」⑪²「小野仁海僧正」トアリ。

ハ
サ
ラ
シ
ヤ
ニ
ム

除_二テ一切ノ惡夢_一ヲ法驗早ク得

マカ
シリ
エイニリ
104
ペイソワ
カ

ॐ नमो भगवते वासुदेवाय

尊星王咒心興僧都傳也

两—𠂔

又云卧時^{フス}两手作^{ニテ}金剛拳^ニ右脇^ニ累^テ脚^ヲ

⑩④
「」
⑩④
二ハ「」
トアリ。

३

二八



トアリ。

變—變

心蓮ノ上ニ有二月輪一月輪ノ上ニ有ニ五股一
五股變ノ身同ニ金剛一也

宝永^⑩二乙酉正月吉日 授與俊清

⑩奥書⑪泰二ハ無シ。

傳授法印隆譽

(表包)

第三之十 (表包裹書)

惡夢不見大事

俊清

(本紙端裏書)

第三之十

惡夢不見之大事^④ 亦名寢所作法^⑤

俊清^⑥

(本紙)

惡—惡、惡

隱—隱

大威德明王惡夢隱沒大事^⑩

先於寢所經彌陀定印作布字觀^⑪

𑖀^{頂上} 𑖀^{心上} 𑖀^腰

𑖀—股、𑖀

次内三𑖀印^⑫ 二頭直立四處加持明四反^⑬ 内縛一中二大立合

𑖀^{フンシエナリ} 𑖀^{キヤ} 𑖀^{ロハム} 𑖀^{ケム} 𑖀^ナ 𑖀^ナ 𑖀^ナ 𑖀^ナ 𑖀^ナ 𑖀^ナ

次右ノ明或一百遍或一千遍可誦之

⑩ 𑖀ニハ此ノ下ニ「所奉法親」トアリ、𑖀ニ

ハ朱筆デ記サレテイル。

⑪ 「經」𑖀𑖀ニハ「結」トアル。

⑫ 「三頭直立四處加持明四反」𑖀ニハ「二頭直立四處加持明四遍」トアリ。
⑬ 内縛一中二大立合

𑖀ニハ「二頭直立四處加持明四遍」トアリ。

⑭ 「𑖀」𑖀ニハ「𑖀」トアリ。

⑮ 「𑖀」𑖀ニハ「𑖀」トアリ。

宝永^⑪一乙酉正月吉日 授與俊清

⑪奥書④⑤ニハ無シ。

傳授法印隆譽

(表包)

第三之十一 (表包裹書)

惡夢消滅祕法

俊清

(本紙端裏書)

第三之十一

惡夢消滅之法

(本紙)

惡夢消滅祕法

八字文殊印明

内縛二大並立^{⑪⑫}立^⑬立^⑭立^⑮

⑪⑫ アウビ ラウンケシヤラクタン

三遍

⑪⑫ 此ノ間ニ⑪ニハ

「大威徳明王印明 内縛三古印

⑪⑫ ⑬「二大並立」⑭ニハ「二大立合」トアリ。

⑪⑫ ⑬「二大並立」⑭ニハ「二大立合」トアリ。

⑪⑫ ⑬「二大並立」⑭ニハ「二大立合」トアリ。

⑪⑫ ⑬「二大並立」⑭ニハ「二大立合」トアリ。

⑪⑫ ⑬「二大並立」⑭ニハ「二大立合」トアリ。

⑪⑫ ⑬「二大並立」⑭ニハ「二大立合」トアリ。

⑪⑫ ⑬「二大並立」⑭ニハ「二大立合」トアリ。

(表包)

第三之十二 (表包裹書)

渡海之大事

俊清^④

(本紙端裏書)

第三之十二^⑤

渡海之大事^⑥

俊清^⑦

(本紙)

渡海之大事

稱
稱

善名稱吉祥王如來印明

印 金剛合掌

真言^⑩

曩莫三曼多没駄喃暗薩縛没駄冒地薩怛縛紇哩捺^⑪

野你也吠奢你曩莫薩縛尾泥娑縛賀^⑫

⑩「真言」㊦ニハ「真言曰」トアリ。

⑪「曼」㊦ニハ「滿」トアリ。

⑫「駄」㊦ニハ「陀」トアリ。

⑬「賀」㊦ニハ「訶」トアリ。

⑭「賀」㊦ニハ「賀三遍」トアリ。

師口云念善名稱吉祥王如來除^ニ風波之難^⑪
得^ニ無畏快樂事^一見^{タリ}二七佛業師經^ニ^⑫

宝永^⑬二乙酉正月吉日

授與俊清

⑪ 「善名稱」⑩ニハ「善名」トアリ。
⑫ ⑬ニハ「矣」ヲ加エテイル。

⑬ 奥書⑭ニハ無シ。
⑭ニハ「已上第三結十二裏十二通分」トアリ。

(表包)

第四之一 (表包裹書)

荒神放捨之法

俊清

(本紙端裏書)

第四之一^⑧

荒神放捨作法^⑧ 二通之内

俊清^⑧

(本紙)

荒神放捨作法^⑫

行法畢^テ 自^ニ礼盤^一 下^リ 向東座

若遣戸障子ナントアラハ少^シ アケテ可^ニ放捨^一

先外五鉗印三度開^キ 撥^ニ遣^ス之^ヲ

ヲシケンハ ヤケンハ ヤ

次内縛二頭指如針三度引開^キ 撥^ニ之^ヲ

キヤハ キヤハ サシウムハツタ
ウハツタハ ツタハ ツタハ ツタハ

⑫ 此レハ二通アルガ^⑧ニハ一通欠ケテイル。

⑫ 「三度引開撥之」^⑧ニハ「開^テ二頭^一ヲ撥遣^ス之^ヲ」トアリ。

次合掌三度引開^{①②③}撥之一

① 下 下 下 ② 下 下 下 ③ 下 下 下

其後已上ノ咒各百遍滿之一

能放捨^{セヨ}是放^{スル}三世ノ荒神^ヲ意也

宝永^{①②}二乙酉天正月吉日 授與俊清

傳燈法印隆譽

①②③ 「引開撥之」 ④ニハ「開ニ頭指」撓レ之トアリ。

①②③ 「下下下」 ④ニハ「下下下」トアリ。

①②③ 「各」 ④ニハ無シ。

①② 奥書 ④ニハ無シ。

(本紙端裏書)

第四之一^④

荒神放捨大事^⑤ 二通之内

俊清^⑥

(本紙)

荒神放捨秘法^⑦

先護身法

次灌頂重々秘印明

次獨鉗印 二手内縛^⑧立合^⑨二風^⑩二風外^⑪三度

撥之^⑫三度^⑬へ者^⑭三世荒神也

撥遣^⑮スル 過去^⑯九万八千^⑰夜又^⑱一^⑲也

⑬① ヲンギヤハギヤハサンミウシハッタ
唵譏婆譏婆𑖀々吽發吒

次内五鉗印^⑬ 或外五鉗印^⑭以^⑮二頭指^⑯三度^⑰
澆^⑱之^⑲撥^⑳遣^㉑スル 現在^㉒九万八千^㉓夜又^㉔一^㉕也

⑬④ ヲンギヤハギヤハサンミウシハッタ
唵釳婆耶釳婆耶婆婆賀

次内縛印^⑬ 内縛^⑭向^⑮下^⑯三度^⑰引^⑱開^⑲ヲ 撓^㉑遣^㉒スル
未來^㉓九万八千^㉔夜又^㉕一^㉖也

⑬⑥ ヲンギヤミナウサンバサンバソワカ
唵譏々囊三婆三婆娑婆賀

⑬① 「二風」 ⑮ニハ「二頭」トアリ。

⑬① 「唵」 ㉑ニハ「𑖀」トアリ。

⑬② 「二頭指」 ⑮ニハ「二頭」トアリ。

⑬③ 「九万八千夜又也」 ⑮ニハ「九千夜又也」トアリ。

⑬④ 「唵」 ㉑ニハ「𑖀」トアリ。

⑬⑤ 「内縛印」 ⑮ニハ「内三古印」トアリ。

⑬⑥ 「唵」 ㉑ニハ「𑖀」トアリ。

口傳―ロイ

荒―荒

ロイ云已上ノ三印言秘中ノ深秘也凡一切ノ

行法ノ時^モ大金一字ノ前^ニ可^レ用^ニ此ノ三印言^一云云

口傳云上ノ三印各撓遣之後又可召之也^云

意ハ三世ノ荒神撓之畢^テ惡事止息スレハ^⑭

必ス善事入り替^ル意也召之時呼^フ施主或ハ

行者ノ名^一也^云

⑬⑦「之」⑬ニハ無シ。

宝永^⑬二乙酉天正月吉日 授與俊清

⑬奥書⑬ニハ無シ。

傳燈師法印隆譽

〔表包〕

第四之三（表包裹書）

去識還来之守

俊清

〔本紙端裏書〕

第四之三

去識還来之守

俊清

〔本紙〕

去識還来之守

⑬「之」⑭ニハ無シ。



⑭ 若末法世人長誦此真言

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑭ 刀兵不能害水火不焚漂

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

表ニハ 孤養子ニハ 裏ニハ 月ニハ

①⑤ 「養」ニハ仰月点無し。
①⑥ 「子」ニハ空点無し。

飛

一出魂魄恠異有レ之時其ノ家ノ内ノ人數ヲ

悉クシルシ八卦遊年ノ方ニテヲ治定ノ可

行一之其ノ日乙ノ日ナラハ水姓ノ人ト可レ知

丙丁ヲハ木姓戊巳ノ日ハ火姓庚辛ノ日ハ

土姓壬癸ノ日ハ金姓ノ人ト知ルヘシ如レク是ノ

遊年ノ方ト其ノ人ノ姓ト相生セハ一定ト知ル若シ

遊年ノ方ト其ノ人ノ姓ト相尅セハ不定ト知ルヘシ相違セハ

ミミト可思之一又施主ノ姓トニ日ノ姓ト相生セハ

必主也其主ヲ知テ行之一時ハ施主ヲ行者ノ

右ノ方ニ居テ可行之一半疊ヲ敷置テ其

上ニ灑水ヲソ、ク

招魂印明觀念有口傳 ①③ ①④ ①⑤ ①⑥ ①⑦ ①⑧ ①⑨ ①⑩ ①⑪ ①⑫ ①⑬ ①⑭ ①⑮ ①⑯ ①⑰ ①⑱ ①⑲ ①⑳ ①㉑ ①㉒ ①㉓ ①㉔ ①㉕ ①㉖ ①㉗ ①㉘ ①㉙ ①㉚ ①㉛ ①㉜ ①㉝ ①㉞ ①㉟ ①㊱ ①㊲ ①㊳ ①㊴ ①㊵ ①㊶ ①㊷ ①㊸ ①㊹ ①㊺ ①㊻ ①㊼ ①㊽ ①㊾ ①㊿ ②① ②② ②③ ②④ ②⑤ ②⑥ ②⑦ ②⑧ ②⑨ ②⑩ ②⑪ ②⑫ ②⑬ ②⑭ ②⑮ ②⑯ ②⑰ ②⑱ ②⑲ ②⑳ ②㉑ ②㉒ ②㉓ ②㉔ ②㉕ ②㉖ ②㉗ ②㉘ ②㉙ ②㉚ ②㉛ ②㉜ ②㉝ ②㉞ ②㉟ ②㊱ ②㊲ ②㊳ ②㊴ ②㊵ ②㊶ ②㊷ ②㊸ ②㊹ ②㊺ ②㊻ ②㊼ ②㊽ ②㊾ ②㊿ ③① ③② ③③ ③④ ③⑤ ③⑥ ③⑦ ③⑧ ③⑨ ③⑩ ③⑪ ③⑫ ③⑬ ③⑭ ③⑮ ③⑯ ③⑰ ③⑱ ③⑲ ③⑳ ③㉑ ③㉒ ③㉓ ③㉔ ③㉕ ③㉖ ③㉗ ③㉘ ③㉙ ③㉚ ③㉛ ③㉜ ③㉝ ③㉞ ③㉟ ③㊱ ③㊲ ③㊳ ③㊴ ③㊵ ③㊶ ③㊷ ③㊸ ③㊹ ③㊺ ③㊻ ③㊼ ③㊽ ③㊾ ③㊿ ④① ④② ④③ ④④ ④⑤ ④⑥ ④⑦ ④⑧ ④⑨ ④⑩ ④⑪ ④⑫ ④⑬ ④⑭ ④⑮ ④⑯ ④⑰ ④⑱ ④⑲ ④⑳ ④㉑ ④㉒ ④㉓ ④㉔ ④㉕ ④㉖ ④㉗ ④㉘ ④㉙ ④㉚ ④㉛ ④㉜ ④㉝ ④㉞ ④㉟ ④㊱ ④㊲ ④㊳ ④㊴ ④㊵ ④㊶ ④㊷ ④㊸ ④㊹ ④㊺ ④㊻ ④㊼ ④㊽ ④㊾ ④㊿ ⑤① ⑤② ⑤③ ⑤④ ⑤⑤ ⑤⑥ ⑤⑦ ⑤⑧ ⑤⑨ ⑤⑩ ⑤⑪ ⑤⑫ ⑤⑬ ⑤⑭ ⑤⑮ ⑤⑯ ⑤⑰ ⑤⑱ ⑤⑲ ⑤⑳ ⑤㉑ ⑤㉒ ⑤㉓ ⑤㉔ ⑤㉕ ⑤㉖ ⑤㉗ ⑤㉘ ⑤㉙ ⑤㉚ ⑤㉛ ⑤㉜ ⑤㉝ ⑤㉞ ⑤㉟ ⑤㊱ ⑤㊲ ⑤㊳ ⑤㊴ ⑤㊵ ⑤㊶ ⑤㊷ ⑤㊸ ⑤㊹ ⑤㊺ ⑤㊻ ⑤㊼ ⑤㊽ ⑤㊾ ⑤㊿ ⑥① ⑥② ⑥③ ⑥④ ⑥⑤ ⑥⑥ ⑥⑦ ⑥⑧ ⑥⑨ ⑥⑩ ⑥⑪ ⑥⑫ ⑥⑬ ⑥⑭ ⑥⑮ ⑥⑯ ⑥⑰ ⑥⑱ ⑥⑲ ⑥⑳ ⑥㉑ ⑥㉒ ⑥㉓ ⑥㉔ ⑥㉕ ⑥㉖ ⑥㉗ ⑥㉘ ⑥㉙ ⑥㉚ ⑥㉛ ⑥㉜ ⑥㉝ ⑥㉞ ⑥㉟ ⑥㊱ ⑥㊲ ⑥㊳ ⑥㊴ ⑥㊵ ⑥㊶ ⑥㊷ ⑥㊸ ⑥㊹ ⑥㊺ ⑥㊻ ⑥㊼ ⑥㊽ ⑥㊾ ⑥㊿ ⑦① ⑦② ⑦③ ⑦④ ⑦⑤ ⑦⑥ ⑦⑦ ⑦⑧ ⑦⑨ ⑦⑩ ⑦⑪ ⑦⑫ ⑦⑬ ⑦⑭ ⑦⑮ ⑦⑯ ⑦⑰ ⑦⑱ ⑦⑲ ⑦⑳ ⑦㉑ ⑦㉒ ⑦㉓ ⑦㉔ ⑦㉕ ⑦㉖ ⑦㉗ ⑦㉘ ⑦㉙ ⑦㉚ ⑦㉛ ⑦㉜ ⑦㉝ ⑦㉞ ⑦㉟ ⑦㊱ ⑦㊲ ⑦㊳ ⑦㊴ ⑦㊵ ⑦㊶ ⑦㊷ ⑦㊸ ⑦㊹ ⑦㊺ ⑦㊻ ⑦㊼ ⑦㊽ ⑦㊾ ⑦㊿ ⑧① ⑧② ⑧③ ⑧④ ⑧⑤ ⑧⑥ ⑧⑦ ⑧⑧ ⑧⑨ ⑧⑩ ⑧⑪ ⑧⑫ ⑧⑬ ⑧⑭ ⑧⑮ ⑧⑯ ⑧⑰ ⑧⑱ ⑧⑲ ⑧⑳ ⑧㉑ ⑧㉒ ⑧㉓ ⑧㉔ ⑧㉕ ⑧㉖ ⑧㉗ ⑧㉘ ⑧㉙ ⑧㉚ ⑧㉛ ⑧㉜ ⑧㉝ ⑧㉞ ⑧㉟ ⑧㊱ ⑧㊲ ⑧㊳ ⑧㊴ ⑧㊵ ⑧㊶ ⑧㊷ ⑧㊸ ⑧㊹ ⑧㊺ ⑧㊻ ⑧㊼ ⑧㊽ ⑧㊾ ⑧㊿ ⑨① ⑨② ⑨③ ⑨④ ⑨⑤ ⑨⑥ ⑨⑦ ⑨⑧ ⑨⑨ ⑨⑩ ⑨⑪ ⑨⑫ ⑨⑬ ⑨⑭ ⑨⑮ ⑨⑯ ⑨⑰ ⑨⑱ ⑨⑲ ⑨⑳ ⑨㉑ ⑨㉒ ⑨㉓ ⑨㉔ ⑨㉕ ⑨㉖ ⑨㉗ ⑨㉘ ⑨㉙ ⑨㉚ ⑨㉛ ⑨㉜ ⑨㉝ ⑨㉞ ⑨㉟ ⑨㊱ ⑨㊲ ⑨㊳ ⑨㊴ ⑨㊵ ⑨㊶ ⑨㊷ ⑨㊸ ⑨㊹ ⑨㊺ ⑨㊻ ⑨㊼ ⑨㊽ ⑨㊾ ⑨㊿ ⑩① ⑩② ⑩③ ⑩④ ⑩⑤ ⑩⑥ ⑩⑦ ⑩⑧ ⑩⑨ ⑩⑩ ⑩⑪ ⑩⑫ ⑩⑬ ⑩⑭ ⑩⑮ ⑩⑯ ⑩⑰ ⑩⑱ ⑩⑲ ⑩⑳ ⑩㉑ ⑩㉒ ⑩㉓ ⑩㉔ ⑩㉕ ⑩㉖ ⑩㉗ ⑩㉘ ⑩㉙ ⑩㉚ ⑩㉛ ⑩㉜ ⑩㉝ ⑩㉞ ⑩㉟ ⑩㊱ ⑩㊲ ⑩㊳ ⑩㊴ ⑩㊵ ⑩㊶ ⑩㊷ ⑩㊸ ⑩㊹ ⑩㊺ ⑩㊻ ⑩㊼ ⑩㊽ ⑩㊾ ⑩㊿ ⑪① ⑪② ⑪③ ⑪④ ⑪⑤ ⑪⑥ ⑪⑦ ⑪⑧ ⑪⑨ ⑪⑩ ⑪⑪ ⑪⑫ ⑪⑬ ⑪⑭ ⑪⑮ ⑪⑯ ⑪⑰ ⑪⑱ ⑪⑲ ⑪⑳ ⑪㉑ ⑪㉒ ⑪㉓ ⑪㉔ ⑪㉕ ⑪㉖ ⑪㉗ ⑪㉘ ⑪㉙ ⑪㉚ ⑪㉛ ⑪㉜ ⑪㉝ ⑪㉞ ⑪㉟ ⑪㊱ ⑪㊲ ⑪㊳ ⑪㊴ ⑪㊵ ⑪㊶ ⑪㊷ ⑪㊸ ⑪㊹ ⑪㊺ ⑪㊻ ⑪㊼ ⑪㊽ ⑪㊾ ⑪㊿ ⑫① ⑫② ⑫③ ⑫④ ⑫⑤ ⑫⑥ ⑫⑦ ⑫⑧ ⑫⑨ ⑫⑩ ⑫⑪ ⑫⑫ ⑫⑬ ⑫⑭ ⑫⑮ ⑫⑯ ⑫⑰ ⑫⑱ ⑫⑲ ⑫⑳ ⑫㉑ ⑫㉒ ⑫㉓ ⑫㉔ ⑫㉕ ⑫㉖ ⑫㉗ ⑫㉘ ⑫㉙ ⑫㉚ ⑫㉛ ⑫㉜ ⑫㉝ ⑫㉞ ⑫㉟ ⑫㊱ ⑫㊲ ⑫㊳ ⑫㊴ ⑫㊵ ⑫㊶ ⑫㊷ ⑫㊸ ⑫㊹ ⑫㊺ ⑫㊻ ⑫㊼ ⑫㊽ ⑫㊾ ⑫㊿

①③ 「内縛開」ニハ無シ。

魂魄飛出^ル時其家内ノ入^ラ知^ル亼

タトハハ西ノ日ナラハ亥ノ歳ノ人^{トカ}巳ノ歳ノ人^ト

可知之^一何^レノ日^ニテモ三^ツ目九^ツ目^ニ

當^テ、知之也若^シ三^ツ目九^ツ目^ニ

當^ル人其ノ家内^ニ无^ハ之无^ト其^ノ

家内^{一ニハ}可^レ心得^{一也}云^云

⑮④「心得」⑮ニハ「得意」トアリ。

寫本云^{⑮⑤}

兼應二^{癸巳}年四月十六醒醐寺

報恩院前大僧正寛濟以御自筆

書被下通也

隆鍬^{⑮⑦}

⑮⑤「寫本云」⑮ニハ無シ。

⑮⑥「十六」⑮ニハ「十六日」トアリ。

⑮⑦「隆鍬」以下⑮ニハ無シ。

元禄元戊辰年九月下旬於下總國^⑬

市川徳寺以隆鍔法印御本

奉書写傳受了

隆譽

⑬ 二八「隆譽」ノ名前ダケアリ。

宝永元^甲十一月上旬^ニ於

智積院隆譽ノ御本寫之

了

俊清

(表包)

第四之六

畧大般若大事

俊清

(本紙端裏書)

第四之六

畧大般若大夏

俊清

(本紙)

畧大般若大夏^③

大般若波羅蜜多經一部六百卷

經臺印

金部義理趣曰三藏法師玄奘

外五古印

奉詔譯

外五古印

智拳印

地水火風空空第一義空

是名般若波羅蜜多

外五古印

塔印

外五古印

合掌

真諦

畧一略

③此ノ「畧大般若大夏」④⑤⑥⑦⑧ニハコ
ノ切紙無シ。

菩薩摩訶薩當得阿耨多

羅三藐三菩提唵々七等覺

支八正道支如是菩薩摩訶

薩皆修行是名戒上无下々

未來普賢神通識都心王並

苦揭諦々々波羅揭諦波羅^⑧

僧揭帝菩提娑婆訶

(表包)

第四之七 (表包裹書)

觀音經一万卷大支

俊清

(本紙端裏書)

第四之七^④

觀音經一万卷大支^④

俊清^④

(本紙)

觀音經一萬卷大支大師修シ玉フ大支也

金剛合掌南無妙法蓮華經 三遍

智拳印 慈眼視衆生

無恥不至 福壽海无量

シツタ マ エイ
あき

宝永^⑩二乙酉天正月吉日 授與俊清

⑩奥書⑪二ハ無シ。

傳燈法印隆譽

(表包)

第四之九
(表包裹書)

長生之大夏

俊清

(本紙端裏書)

第四之九^⑨

長生之大夏^宋

俊清[®]

(本紙)

長生之大事

印
二
手
金
剛
拳
安
腰

真言⁽¹⁶¹⁾

⑨
 ン
 ナ
 チ
 マ
 カ
 ナ
 チ
 ソ
 ワ
 カ

①⑥①「真言」②泰二ハ「真言曰」トアリ。

宝永⁽¹⁶²⁾二乙

酉 正月吉日

授與俊清

①62 奥書賢奈二ハ無シ。

傳燈大阿闍梨法印隆譽

(表包)

第四之十 (表包裏書)

能延六月之大夏

俊清

(本紙端裏書)

⑧ 第四之十

⑧ 能延六月大夏

⑧ 俊清

(本紙)

能延六月大夏

先向^ニ病者^ニ加持^シ其^ノ後何^レ法^{ナリ}也

可^ス二 祈念^一也

見我身者發菩提心^{根本印}

列

聞我名者斷^⑬或^⑭修善^{釵印}

文

聽我說者得大智恵^{智拳印}

文

⑭ 智我身者即身成佛^{先野不至}

系

⑬ 「或」⑭ ニハ 「惡」トアリ。

⑮ ニハ 「惡」トアリ。

⑭ 「智我身者」⑮ ニハ 「知我心者」トアリ。

秘口云右ノ中ニ智拳ノ時左ノ風ヲ施主ノ命風ト

観¹⁶⁶先¹⁶⁶其ノ命風ヲ右ノ空ニテ押ヘテ余処ヘ不レシテ遣ヤラ

留メ置テ可¹⁶⁷ニ折念一也定業必死ノ者モ一旦ハ

必ス命ヲ延¹⁶⁷フル也云

①⑥ 「智拳」①⑦ニハ「智拳印」トアリ。

①⑥ 「先」①⑦ニハ無シ。

①⑦ 「延」①⑦ニハ「処」トアリ。

宝永¹⁶⁸二乙酉天正月吉日 授與俊清

①⑧ 奥書①⑧ニハ無シ。

傳燈師法印隆譽

竟—魂

(表包)

第四之十一 (表包裹書)

招魂法

付_マレ法

俊清

(本紙端裏書)

④ 第四之十一

④ 招魂 付_マレ法

④ 俊清

招魂 付_マレ法 修之
愛_ラ 染法也

供養法 如常

口決云本尊加持^⑩ 先結外五古印

⑩ 真言

あふひま 呼其人姓名次^⑪去識還来^⑫
⑫ 三返唱三反^⑬招魂以二風^⑭招之

⑩ 「加持」 ㊦ニハ「加持時」トアリ。

⑪ 「真言」 ㊦ニハ「真言曰」トアリ。

⑫ 「去識還来」 ㊦㊦ニハ「唱去識還来」トアリ。

⑬ 「三返」 ㊦ニハ「三度」トアリ。

⑭ 「招魂」 ㊦ニハ無シ。

⑮ 「招之」 ㊦ニハ「召之」トアリ。

閻—閻、
广—魔

ॐ ॥ १७५ ॥

次結荼陀印⁽¹⁷⁶⁾
真言

虚心合掌二地二風入掌皆相合⁽¹⁷⁷⁾

以空押風
一
台藏闡廣天印

(179)
(178)

 呼其人姓名ヲ唱云去識
 還来以二空招覓三度

ジヤク
於
於
於

散念誦 佛眼 大日 本尊大咒 ①⑧① 一字心如常
普賢延命吉祥成就明

破諸宿曜明 成就一切明
大金一字

又口決云根本印⁽¹⁸¹⁾以二中招魂⁽¹⁸²⁾三反

マカ
ラギヤ
ハゾロ
シユニ
シヤバ
ザラサ
トハ
招
鬼

ジャクウムバンコク
カ・ホ・ホ

又五種相應印

①¹⁸⁴ 內縛鈎召印 以二風

②¹⁸⁵ 內五古鈎召

真言（185）
招呼姓名如（186）
招魂三度先

香林齋

(175) 不_レ立_レ 賢二ハ 不_レ立_レトアリ。

①七六「茶陀印」②賢③泰二八「檀茶印」トアリ。

①⑦⑦「皆」②泰二ハ「背」トアリ。

⑪ 賢二ハ此ノ間ニ「真言」トアリ。

①79 「ウツミエノキ」泰二八「ウツミエ
ノキ」トアリ。

①⑧〇「二字心如常」①賢二ハ無シ。

⑮「根本印」⑮二八「根本」トアリ。

⑬② 「三反」 ㊦ニハ 「三度」 トアリ。

⑬ 〔〕
 二ハ
 〔〕
 トアリ。

①84 「内縛鈎召印」 ②賢二八 「或内縛五肱印」

内縛鈷召印」トアリ。又朱筆ニテ「内縛鈷召印以二風一鈎召ス」トアリ。

⑬「真言」⑭二ハ「真言曰」トアリ。

①86「先」②賢二ハ「生」トアリ。

發願

護持_{其甲}去識還來壽命長遠

宝永^⑧二乙酉天正月吉日 授與俊清

⑧與書⑨泰二ハ無シ。

傳燈法印隆譽

〔表包無シ〕邪氣等加持作法ニ付シテイタノガ、コノ本紙ダケ残ッタノデアロウ)

(本紙端裏書)

邪氣加持^④

俊清^④

(本紙)

ロイ―口傳

尔―爾

導―碍、礙
灵―靈、靈

邪氣加持之ロイ^⑬

師口ニ云此ノ法ハ先^⑭ツハ為^ニ本病人ノ用^レユ之^レ余^レト行

者ノ修力弱ケレハ本病ハ難^レキ治シ也仍^⑮テ多分用^ニユ邪氣

障導等ノ加持^一亦ハ狐着^{ツキ}生^レ灵死^レ灵俱^ニ

用^レ之ヲ也

先待者欲^⑯スル修^{セント}此^一ヲ法^一沐浴シ可^ニ身器ヲ随

分^ニ清淨^一ニス^⑰內衣并^ニ清淨^{ナルヲ}也袈裟衣等可^ニ着用^一ス

行^ニ病家^一ニ時^ニ必^ス可^キ所^ニ持^ス五鈷杵^ヲ也五古^ヲハ

清淨ナル紙^ニテ^{ツミ}裏^レ之ヲ持^スヘキ也加持ノ時^モ乍^レ裏^レ紙^ニ

⑬「之ロイ」⑭ニハ「口傳」トアリ。

⑭ニハ「之口傳」トアリ。

⑮「先」⑯ニハ無シ。

⑯「仍」⑰ニハ「依」トアリ。

⑰「待者」⑱ニハ「行者」トアリ。

⑱「內衣并」也袈裟衣等可^ニ着用^一ス⑲ニハ

二行割書ニテ「內衣并袈裟衣等可^ニ着用^一ス」トアリ。

衆一衆

加持^{スル}也 是^レ口傳也又平生ノ信佛ノ像守リ本尊

等^{ヲモ}可^二懷中^一也入^二病家^一病人ヲ令^レメ向^二玉女^一方^ニ

者^其玉女^{方ト}日^ノ支^{ヨリ}三^ツ目或ハ九^ツ目也假^{タトヘ}令子ノ日

ナラハ

寅方^欵也申ノ方^欵也餘ノ日准^ル智^ルヘキ也

行者向^ニ病人^一用^ニ加持^一ノ作法^ヲ一次^ニ誦^ス秘鍵^一

⁽¹⁹⁷⁾有^二衆僧^一
令^レ誦^レ之

誦^シ了^テ復^タ用^ニ加持^一々々了^テ行者坐^シ病人ノ後^一

誦^ス慈救咒百返或ニ百返<sup>念珠ニテ取レリ數ヲ丁寧
可^レ誦^レ之ヲ也</sup>

但^シ二百返^ヲ為^ス吉^ト余ノ後^チ又誦^シナカラ慈救咒^一五^五鉈

杵^ヲ當^ニ病人ノ大髓^{ダイス}ノ骨^ノ上^ニ當^ル也

推^シ之^ヲ次^ニ男^ハ從^レ左^ニ至^レ右^ニ肩端^{ハシ}以^ニ五^五鉈^一推^ス之^ヲ

三^三度^度

大髓<sup>ト左右
肩ト也</sup>各^々七^七返^ツ誦^ス慈救咒^一三七^三廿^七一^一返^也

次^ニ廿^二一^一處^ノ五^五鉈^ノ跡^ニ以^ニ五^五鉈^一可^レ書^ク字^ヲ一^一廿

⁽¹⁹⁴⁾「也」⁽¹⁹⁵⁾泰ニハ無シ。

⁽¹⁹⁵⁾「也」⁽¹⁹⁶⁾泰ニハ無シ。

⁽¹⁹⁶⁾「智」⁽¹⁹⁷⁾泰ニハ「知」トアリ。

⁽¹⁹⁷⁾「令有衆僧
誦之」⁽¹⁹⁸⁾ニハ「衆僧」トアリ。

⁽¹⁹⁸⁾「次男從左至右
肩端」⁽¹⁹⁹⁾ニハ「次肩端」トアリ。

⁽¹⁹⁹⁾「三度」⁽²⁰⁰⁾ニハ「三處」トアリ。

⁽²⁰⁰⁾「三七廿一返也」⁽²⁰¹⁾ニハ「三返也」トアリ。

⁽²⁰¹⁾「次」⁽²⁰²⁾ニハ「次」トアリ。

尔—爾

一處

卅一字畫^レ之^ヲ也^ノ尔^ノ後^チ行者向^ニ病人ノ前^ニ令^メ三

病人ノ伸^ニ兩足^ヲ合^セ兩足^ヲ大指ノ合^セ目^ニ當^テ五

鈞^ヲ

跡^ニ𦵏[㊤]字畫^レ之^ヲ先^ツ兩足ノ大指ノ合^セ目^ニ當^テ五

古^ヲ

次^ニ當^{タル}五古^ヲ跡^ニ以^ニ五古^一𦵏[㊤]字畫^レ之^ヲ也^ノ尔^ノ兩

手ノ大指ノ端^シ男ハ從^レリ始^メ女ハ從^レリ右^キ始^ム從^ニ二

大指ノ端^一至^ニ小指ノ端^ニ以^ニ五古^一推^レス之^ヲ也^ノ若^シ生^{イキ}

灵死灵野狐

等^{ナレハ}小指ノ端^シ出^ル也^ノ男ハ左^リ小指女ハ右^ノ小指

右^ノ以^ニ大指頭指^ヲ握^ニ病人ノ小指ノ端^ヲ不^レ可^レ放^レ

之^ヲ尔^ノ

時作^ニス障導^ヲ者依^ニテ加^ハ持力^ニ出^テ去^{ラン}卒^ニ尔^ニ

不^レ可^レ許^ル之^ヲ必^ズ偽^{イッハツテ}不^レ出^テ者也^ノ或^ハ古狐ナドハ

㊤「合^セ兩足^ヲ」㊤ニハ無^シ。

㊤「𦵏」㊤ニハ「𦵏」トアリ。

「𦵏字畫^レ之^ヲ先^ツ兩足ノ大指ノ合^セ目^ニ當^テ五古^一次^ニ當^{タル}五古^ヲ跡^ニ以^ニ五古^一𦵏字畫^レ之^ヲ」㊤ニハ「書^ニ𦵏字^ヲ」^{五節次第ノ五古字以^テ書^ク也}トアル。

㊤「右以^ニ大指頭指^ヲ」㊤㊤ニハ「行者以^ニ右^ノ大指頭指^ヲ」トアリ。

㊤「出去卒尔」㊤㊤ニハ「云^ニ」^{出^テ去^{ラン}}卒^ニ尔^ノトアリ。

灵—靈、靈

导—導

假^{カッテ}ニ人ノ名^ヲ不^レ言^ニ己^レ着^{キタル}一也或ハ假^テ平^ニ日^ニ加持^セン
②⑦僧^{ナド}ノ名^ヲ名^ル乗^ル者^也

②⑥ 「平日」②⑥ニハ「平生」トアリ。

②⑦ ②⑧ニハ此ノ後ニ

「又口傳^ニ云死狐ノ着^{タル}ハ不^レ可^ニ加持^一
 不^レ離^者也
私云唯可誦 經光明真言也 證悟有之

尚祕口云邪氣加持觀念ノ上^ニ可^レ修^ニ阿
 字觀^一是祕傳也^云

已上 授与

某

傳灯阿闍梨法印 「トアリ。

(表包)

第五之一 (表包裹書)

三部拜見之大事 并勸請文等
内百三通

俊清

(本紙端裏書)

第五之一 三紙之内^㉔

三部勸請之文^㉕

興教大師御作^㉖

俊清^㉗

(本紙)

三部勸請之文

本願上人
御製作

地主山王两所権現十二王子百二十伴

聖無動尊本部十天龍神八部護法

天等天照八幡賀茂^㉘下上及以朝中^㉙

一千餘社^㉚
云

㉔ 「下上及」
㉕ 二八 「上下乃」トアリ。

(本紙端裏書)

第五之一^④ 三紙之内

三部春日九社明神之事^⑤
俊清^⑥

(本紙)

三部權現之事

龙金剛部
丹生高野两大明神而^⑦為^⑧上首^⑨地主
山王兩所權現十二王子百二十伴神

中央佛部
^⑩聖無動尊本部ノ十天護國利民ノ
天龍八部諸護法天等

右蓮華部
天照皇太神八幡大菩薩寶茂
大明神及與^⑪日本國中大小神祇
一千^⑫餘社也

九社明神之事

龙 丹生高野两大明神伊太祈曾大明神^⑬

⑩ 「聖無動尊」⑪ 二ハ「聖不動尊」トアリ。

⑪ 「餘社」⑫ 二ハ「餘座」トアリ。

⑬ 「祈曾」⑭ 二ハ「木曾」トアリ。

中 御船ミフネ三所大明神金折六所大明神

金峯藏王權現

右 熊野三所²¹²大權現白山妙理大權現
牛頭天王八王子²¹³也

²¹²「大權現」²¹³ニハ「權現」トアリ。
²¹³「也」²¹⁴ニハ無シ。

春日明神四座

第一殿 本地釋迦 第二殿 本地藥師

第三殿 本地地藏 第四殿 本地觀音

第五殿 本地文殊²¹⁵ 若宮

三部權現 九社明神

春日明神俱²¹⁶ニ興教大師御勸請也

²¹⁴「興教大師」²¹⁵ニハ「興教大師之」ト
アリ。

(本紙端裏書)

第五之一^④ 三紙之内

三部拜見大事^④ 并九社春日拜見大事

俊清^④

(本紙)

三部拜見大事

堅實合掌^ノ 先頭指^ヲ 𠄎^ト 開次中指^ヲ

𠄎^ト 開以先名指^ヲ 𠄎^ト 開也^{②⑤}

𠄎^ト 𠄎^ト 𠄎^ト 無名指^ヲ 合^ス

𠄎^ト 𠄎^ト 𠄎^ト 中指^ヲ 合

𠄎^ト 𠄎^ト 𠄎^ト 無眈不至

𠄎^ト 𠄎^ト 𠄎^ト 外五古^{②⑥}

春日明神大事^{②⑦}

先五種本地印明^{②⑧}

②⑤ 「以」^{②⑥} ②⑧ 二ハ「次」トアリ。

②⑥ 「𠄎」^{②⑧} 二ハ「𠄎」アリ。

②⑦ 「大事」^{②⑧} 二ハ無シ。

②⑧ 「五」^{②⑧} 二ハ無シ。

次秘印内縛二大ヲ重テ入掌ニ

明日 𠄎𠄎𠄎

九社明神大事

印内縛二大指ヲ入二掌中ニ

明日 𠄎𠄎𠄎

勸請文曰云云

三部拜見大事

^{④⑤} ④口云⑤三通之内用此傳

先護身法如常

葵葉

次八葵印 觀心月輪上有^{②①}

三字ニ變成三部權現ト

皈帰、歸

次无恥不至印明

^{④⑤} ④ナウマサシダボダシ 皈命 𠄎

次外五古印明

^{④⑤} ④同 皈命 𠄎

次智拳印明

^{④⑤} ④同 皈命 𠄎^{②②} 矣

^{④⑤} ④口云⑤三通之内^{④⑤}ニハ此ノ六字無シ。

^{②①} ②「三通」^{④⑤} ④ニハ「三通」トアリ。

^{②①} 「觀心月輪上有三字ニ變成三部權現」
④ニハ「觀心月輪ノ上ニ有ニ八葉ノ蓮華」
(④花) 變成ニ 𠄎 𠄎 𠄎 三字ニ三字 (④)
字無シ三字變成三部權現トトアリ。

^{②②} 「𠄎」^{④⑤} ④ニハ「𠄎」トアリ。

宝永^{②③}一乙酉正月吉日 授與俊清

②③ 奥書④⑤ニハ無シ。

傳燈大阿闍梨法印隆譽

(表包)

第五之六 (表包裹書)

鉢之大事

俊清

(本紙端裏書)

第五ノ六^④

鉢之作法^④

俊清^④

(本紙)

鉢作法

先佛供 三匙

加持三古ノ印 水空相捻以二件ノ印明一ヲ惣ノ^{②④} 加持三环

アミリ テイウン バツタ
ミツヲスル

供養 普印 普供養ノ明若^④

偈頌 普印 上獻三宝等

中報四恩下及六道^{②⑤}

悉皆飽滿

②④ 「加持三环」④ニハ「加持三匙」トアリ。

②⑤ 「中報四恩下及六道悉皆飽滿」④ニハ略ス。④ニハ朱筆ニテ「中報四恩下及三途悉皆飽滿」トアリ。

次不動三匙

次根本ノ印
若釵印

施殘食ノ明

ナウマクサンマンダバサラタンタラタ
 曩莫三曼多嚩曰羅喃怛羅吒 ⁽²²⁶⁾ ⁽²²⁷⁾

阿慕伽贊拏摩訶路沙拏娑

[illegible]

怛タ羅ラ吒タ憾カン鎗マン

次訶利帝 三匙 印金剛合掌

ド、マリキヤキテイソワカ

次施餓鬼
印明在別⁽²³⁰⁾

授與俊清⁽²³¹⁾

傳燈法印隆譽

②②⑥
「曼」②②⑧
「滿」
トアリ。

②②⑦「羅」②「賢」ニハ「夢」トアリ、以下ノ「羅」ハ「夢」トシテイル。

②②⑧「慕」②②⑨「莫」トアリ。

②②⑨「訶利帝」②②八「訶利帝母」トアリ。

(230) 「印明在別」 (賢) 二八 「印明在別」
 「自秘妙之中」出之」 ト
 アリ。

②31 奥書賢奈二ハ無シ。

(表包)

第五之十 (表包裹書)

越三昧耶大事

俊清

(本紙端裏書)

第五之十^㉔

越三昧之大事^㉔

俊清^㉔

(本紙)

越三昧耶大事

向^ニ師匠^ニ不^ニ傳受^一真言大事等
奉讀見不得罪法印真言^㉔

龙ノ手屈中指無明指小指以^ニ

母指^ヲ押^シ彼^ノ三指ノ甲^ヲ頭指直^ク^㉔

堅^テ右又^レ如^ク是^ノ以^ニ龙手^ヲ受^ニ龙頬^一^㉔

以^ニ右ノ手^ヲ覆^ニ置^ク膝ノ上^ヘニ^一

明日

㉔ 「印真言」 ㉔ ニハ「印」トアリ。

㉔ 「彼三指甲」 ㉔ ニハ「三指甲」トアリ。

㉔ 「立」 ㉔ ニハ「堅」トアリ。

㉔ ニハ「堅」トアリ。

㉔ 「又」 ㉔ ニハ「亦」トアリ。

(表包)

第五之十一 (表包裹書)

曳念誦作法

俊清

(本紙端裏書)

第五之十一^④

曳念誦之大事^④

四通合記一紙

俊清^④

(本紙)

引念誦作法

到^テ二散念誦^ニ一纏^テ數珠^ヲ薰^シ燒香^ニ置^テ二掌中^ニ一

イ字七遍次イ字七遍次^{ロシテ}イ

マ^ニハラバムジャウン^{②③}七遍然後^ニ可^シ念誦^ス一

一遍^ハ成^リ二十遍^ト一々々^ハ成^リ百遍^ト一々々^ハ成^リ千遍^ト一

未授法之者不^レ可^レ授^レ之非^ハ附法ノ弟子^ニ者^一

②③ 「七遍」④ 二ハ無シ。

輒ク不授之可秘云^{②③}

②③「可秘云」②④ニハ「可秘之云」トアリ。

松橋方之通

引念誦法

先念珠ラ入掌ニ字七遍

次ロシラマニハラハタヤム七遍

其後念珠一遍引キ廻ス當ニ万億

數遍云

願行意教方之通

亦云曳念誦

早々念誦

先取^ニ念珠^ヲ入^ニ蓮合^ニ當^ニ心門^ニ

誦^ニ字^ヲ 七遍

次誦^{④①}此真言^ヲ 卅一遍

字^{④②}          

ロシラマニ^{④③}ハクハクヤム

次開^ニ蓮合^ヲ取^ニ數珠^ヲ何レノ真言隨^テ心

可念誦^ニ是祕中ノ最祕也輒^ク不^レ可^ニ

授與^ス也此ノ法^ハ出^{タリ}宝樓閣陀羅尼^{④④}

經^{ヨリ}云

次如^レ是念誦^シ了可^ニ結^ニ誦^ス般若菩薩ノ

印真言^ヲ

梵篋印

字^{④⑤}        

チシリシエロタビシヤエイ

④①「誦此真言」④②ニハ「真言」トアリ。

④②「          」トアリ。④③ニハ「          」トアリ。

④④「數珠」④⑤ニハ「念珠」トアリ。

④⑤「宝樓閣陀羅尼經」大正藏第十九卷所収『大寶廣博樓閣善住秘密陀羅尼經』卷中 六二七頁上段所収。梵字真言ハ六三五頁上段「加持念珠」ニ「          」トアリ。

④⑥「          」トアリ。

印決云早々念誦事

諸尊散念誦ノ時真言具ニ不レ誦早々ニ

誦レ之又ハ曳念誦ニ作サハ之爲レ補ニ此ノ真言

文句ノ闕如一修スル此ノ大事一也此ノ作法出レタリ自ニ

宝樓閣經²⁴⁵等ノ言被經ノ

所説也彼ノ經ニ説ニ補闕ノ功能一故用ニ此説一

一説云散念誦ノ大事²⁴⁷

先佛眼ノ印言ニテ行者自開眼^{ミズカラ}開ニ五眼一

如ク別記一次ニ取ニ珠數一誦^マ薰^ヲ燒香一

次入²⁴⁸ニ合蓮²⁴⁹ニ安²⁵⁰ニ心上ニ^ニ七字七遍次^ミ

等²⁵¹七遍次^ミ字七遍誦シ了^テ

散念誦可レ始^云之云

²⁴⁵「言」[㊦]ニハ「眞言」トアリ。

²⁴⁶「用」此説[㊦]「[㊦]ニハ「用」此説」也」トアリ。

²⁴⁷「散念誦ノ大事」[㊦]ニ「散珠之大事」トアリ。

²⁴⁸「次入」合蓮^ニ安^ニ心上^ニ七字七遍」[㊦]ニハ無シ。

²⁴⁹「合蓮」[㊦]ニハ「蓮合」トアリ。

²⁵⁰「等七遍」[㊦]ニハ「等ノ明七遍」トアリ。

宝永二乙酉正月吉日 授與俊清^⑤

傳燈師法印隆譽

⑤⑥⑦二ハ奥書無ク、小字ニテ

「宝樓閣經（小字）中成就院（^⑧心）陀羅尼

法品云ク、加持念誦ノ（^⑨珠）真言（引）唵

嚩止嚩摩（マ）拏（ニ）鉢（ハ）多（タ）耶（ヤ）吽（フ）三

真言ヲ加ニ持念珠（一）七反、若念誦、本尊真

言（一）反移一珠（二）即成誦一切如來所說真

言（一）反（一）ノ真言成（二）無量ノ百千那庾

多偏（一）

念誦ノ時ノ真言（先欲念本真言時
先誦此真言）唵（引）嚩日羅摩

你迦羅緊迦吽（ス）（^三）已上經、

全文 隆譽私考之」トアル。

(表包)

第五之十二 (表包裹書)

顯露不結印事

俊清

(本紙端裏書)

第五之十二

顯露不結印

俊清^⑧

(本紙)

顯露^ニ不^レ可^レ結^レ印^ヲ事

准胝儀軌^{金剛智}云即以塗香摩

手而結印契^⑨結契時以衣覆

手勿令人見^文

陀羅尼集經云像前作印以袈裟

覆或用淨巾^{キン}^文

毘勝太子經云復次善男子等

⑨「結契」⑩ニハ無シ。

欲用印先持咒有効然乃結印

行用欲結之時清淨沐浴著

新淨衣○即以二尺緋紗⑤⑥ビシャ紗袂作威

盛手○文

當時行用依准胝軌テイギニ於衣

袖下作之或依集經文於

袈裟下作之淨巾ハ常取

不用也

教舜

十八道口決鈔云

次普礼

御口云若晴ノ時ハ自_ニ字觀至

普礼右ノ袖ノ中胸下程_{ニテ}作

之袈裟ノ中_{ニテ}作之極タル非説也云

已上

⑤⑥「之」⑤ニハ「印」トアリ。

⑤⑥「緋紗」⑤⑥ニハ「緋紗」トアリ。

②⑤

第五之十二^④

顯露不結印事^④

②⑤ ②⑧ 二八「前法務有雅大僧正賜御本奉拜写

慈運房隆譽」

トアリ。

②⑧ 二八「寛延二二年歳飛辛未二月廿八日
書寫校合了

求法末資泰周

享和元星舍辛酉冬十二月十八日寫功竟

鳳毛宮人貫道」トアリ。

兼承

私云此一通醍醐寺住山之時前法務大僧正^④
有雅大和尚賜相兼之御本奉拜寫了^④

宝永二乙酉^④天正月吉日

求法慈雲房^④

隆譽^④